

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 22 日現在

機関番号：32816

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：平成 21 年度 ～ 平成 23 年度

課題番号：21520641

研究課題名（和文）韓国の小学生向けの英語放送番組の分析および日本の小学校英語活動への示唆

研究課題名（英文）Analysis of English broadcast programs for elementary school students in Korea and implications for English activities in Japanese elementary schools

研究代表者

カレイラ松崎 順子 (GARREIRA MATSUZAKI JUNKO)

東京未来大学 こども心理学部 講師

研究者番号：40454186

研究成果の概要（和文）：

本研究の成果として次の点があげられる。第一に、韓国の英語教育番組を専門に放映する Korean Educational Broadcasting System English (EBSe) の学校放送番組 School English Learning の番組分析を行い、それらの研究成果を様々な学会などで発表し、また、論文としても発表した。第二に、韓国の英語教育、教育制度、および私教育費軽減対策について調査を行い、EBSe が開局されたその背後にある教育事情について明らかにし、それらの成果は書籍として出版した。

研究成果の概要（英文）：

The results of this research project can be summarized as follows. First, School English Learning programs of the Korean Educational Broadcasting System English (EBSe) were analyzed. Research results were presented at several conferences and published in academic journals. Secondly, English education, educational systems, and private tutoring expenditure reduction plans in Korea were examined, revealing educational circumstances under which EBSe had been opened. The results were published as a book.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
平成 21 年度	700,000	210,000	910,000
平成 22 年度	600,000	180,000	780,000
平成 23 年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	1,900,000	570,000	2,470,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：小学校・英語教育・韓国・EBS・教育番組

1. 研究開始当初の背景

韓国では 1997 年に小学 3 年生から英語を正規教科として取り入れており、小・中・高一貫の教育課程の確立、国定教科書や教材の開発、充実した教員養成、研修制度など、周知の準備のもとに英語教育が導入された。一方で、都市と地方において英語の学力格差が見られ、このような格差を解決するための手

段として注目されたのが放送やインターネットなどのメディアを使った学習教材であり、政府が最もその発展に力を注いでいるのが、Korean Educational Broadcasting System English (EBSe) である。EBSe は衛星放送とともにケーブルテレビでも配信されており、韓国全世帯の約 8 割が視聴可能であり、日本の文部科学省にあたる韓国の教育

科学技術部が財政支援を行っている。EBSは学校の授業でも自宅でも学習できる。ホームページ上に幼児向けの番組が30 (e.g., Art Classic Stories, Baby Peekaboo), 小学生向け番組が75(e.g., La La La Happy School, I love Reading), 中学生向けの番組が69(e.g., Rainbow English, Enjoy Stories), 高校生向けの番組が13(e.g., Debate Survival, Korean Culture), 一般および父兄のための番組が40(e.g., World News Review, English 119), 教師用の番組が11 (e.g., Teachers' Guide3-Native Teacher, Teachers' Guide2 - Middle School)あり, ほとんどの番組がホームページ上から視聴することができ, レベルテストやゲームなども行うことができる。

一方, 日本では平成23年度から全国の公立小学校において外国語活動が小学校5・6年生に必修化されたが, まだ解決しなければならない多くの問題が残されている。第一に, 新学習指導要領は学級担任が主導で授業を行うことを明記しているが, 学級担任の多くは英語をあまり得意としないため, 教員研修や学級担任をサポートする教材開発が早急に必要である。第二に, 英語専門教員の確保など市町村によりかなりの地域差が見られるため, 地域や学校間に英語教育の量・質両面において格差が生じている。ところで, このような問題を解決する1つの方策として学校放送番組があげられる。学校放送番組を使用することにより, 地域に関係なく同一の授業を受けることができ, また, 学級担任の負担も軽減できる。

ゆえに, 先駆けて放送番組を英語教育に取り入れている韓国の状況は日本にも多くの示唆を与えるものであると考え, 韓国のEBSの学校放送番組(School English Learning 以下SEL)を研究することにした。

2. 研究の目的

本研究の目的は, 韓国の英語教育番組EBSのうち小学生対象の学校放送番組SELを分析し, 日本の外国語活動および学校放送番組に示唆を与えることである。

3. 研究の方法

EBSの小学生対象のSELの番組をすべて視聴し, それらの特徴について把握した。さらに, 各番組のコーパスを作成し, コンコーダンサーWordSmith version 5により分析を行った。具体的には, 派生形を基本形にまとめるレマ化処理(lemmatization)を行った後, 延べ語数(Tokens), 異なり語数(Types), および, 異なり語数を延べ語数で割り, それらを平均した標準化値(S-TTR)を算出した。さらに, Typesを頻度順に並べ替え, 上位200の語彙を各番組の頻出語彙としてリスト化

し, さらに各番組のKeyness(特徴度)を算出した。最後に大学英語教育学会が策定した語彙表「大学英語教育学会基本語リスト: JACET List of 8000 Basic Words」との比較を行うため, JACET8000分析プログラムを使用して両番組の語彙のレベルについて調べた。

また, EBSが開局されたその背後にある韓国の英語教育や教育事情に関する文献を収集したり, 韓国の小学校や英語村をいくつか視察し質問紙調査を行った。

4. 研究成果

EBSのSELの小学生対象の番組の分析を行った結果, 以下のことが明らかになった。第一に, 初等学生向けの番組(SEL1~SEL5)は, SEL1はフォニックスに, SEL2以降は文法に重点が置かれており, 高学年用の番組になるほど英語の使用が増えている。文法を学ぶ番組としてはSEL3のGra Gra GrammerおよびSEL4のNew Spy Zoneが文法をわかりやすく楽しく教えており, この2つの番組は日本の小学生に文法をどのように教えるべきかなど多くの示唆を与えてくれる。また, SEL4のSpy Zoneは日本の小学校で内容重視の指導法を行う際に参考になる番組である。第二に, SELのレベルや難易度において問題があることが明らかになった。たとえば, SEL3の初等学校4年生対象のWow! Game Landは出演者が韓国語で話している部分がほとんどで, 英語で話している部分が極端に少ない。教育人的支援部(2007)は初等学校4年生の達成基準を「日常生活に関する簡単な対話を聞いて理解する」「身近な事物と人に関するやさしくて簡単な話を聞いて理解する」「やさしくて簡単な対話を聞いて, 対話が起きた場所と時間などが分かる」「やさしくて明瞭な説明を聞いて単純な課題を遂行する」と記載しているが, 番組で話されている英語のレベルはこの達成基準よりも明らかに低い。一方で, SEL2の初等学校3年生対象の番組であるWord Circusでは, Wow! Game Landよりも英語を多く使っており, また, 簡単な語彙を読む練習も行っている。つまり, 初等学校3年生対象のWord Circusのほうが初等学校4年生対象のWow! Game Landよりも内容が難しくなっている。また, SEL5では初等学校6年生「1学期」に放映されるTok Tok Englishは, 内容重視の指導法を取り入れているため, 教育人的支援部(2007)が示している6年生の達成基準である「簡単な話や対話を聞いて中心的内容を理解する」「簡単な話や対話を聞いて細部事項を理解する」「簡単な話や対話を聞いて事件が起きた順序が分かる」よりも高度な内容が英語で話されている。一方, 初等学校6年生「2学期」のCyber Talesは文法学習中心の番組であり, 文法説明を韓国

語で行う部分が多く、Tok Tok English よりも簡単な英語を使っている。つまり、初等学校 6 年生の番組は 1 学期の番組のほうが難しく、2 学期の番組のほうが簡単である。これらのことから SEL が学年や学期が進むにつれて、順にレベルをあげて使用する番組ではないことがわかる。SEL は学校の授業で使用することを意図して制作された番組ではあるが、必ずしも学校の授業で使いやすい教材であるとはいえないようである。これらの成果は「韓国教育放送公社 EBS の小学生対象の番組分析」『メディア教育研究』第 7 巻第 1 号 9-18 と「韓国教育放送公社における英語の学校放送番組分析」『大阪経済法科大学東アジア研究』第 53 号 127-139 に記されている。

さらに、SEL の番組のうち内容重視の指導法を取り入れた番組のコーパス分析を行った結果、かなり難しい語彙も使われているが同じ語彙を何度も繰り返すことにより理解させるなど特に、学年が低い番組であればあるほど児童に英語を理解させるための工夫が行われていたことが明らかになった。これらの成果は 37th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exhibition および映画英語教育学会 (ATEM) 東日本支部例会 で発表した。

また、EBS が開局された背後の事情をより深く理解するため EBS に関する研究だけでなく、韓国の英語教育についても調べた。第一に、韓国の 2007 年改訂教育課程と日本の学習指導要領の英語教育に関する比較を行った。その結果、日本の学習指導要領よりも韓国の 2007 年改訂教育課程は各学年の「聞く」「話す」「読む」「書く」の 4 技能の目標が明確化されており、学年があがるにつれて徐々に難しくなり、扱う範囲が児童の身近なものから徐々に広がっていくのがわかる。この成果は「韓国の 2007 年改訂教育課程および日本の学習指導要領における英語教育に関する比較」『東アジア研究』第 55 号 1-15 に掲載した。また、韓国の小学校において動機づけの質問紙調査を行ったり、京畿道やソウルの英語村を訪問し、韓国の英語教育について様々な角度から調査を行った。これらの研究成果は順次発表していく予定である。

さらに、英語教育の観点からだけでなく、EBS が開局されたその背後にある教育事情について明らかにするため、私教育費軽減対策のための放課後学校や教育制度について調べた。韓国では 1960 年代から私教育費が深刻な問題となりはじめ、高まる私教育費を軽減するための対策が様々行われてきた。最初に行われた対策は 1968 年と 1973 年に各々実施された中学校無試験進学制と高校平準化政策である。さらに、1980 年には 7.30 教

育改革措置により学院（日本の塾）や家庭教師などの私教育が全面的に禁止され、「私設講習所に関する法律及び施行令」を根拠とし、政府はこれを強力に推進するため、私教育取締班を編制・運営し、不法な私教育を取り締まっていった。しかし、私教育禁止措置への反対意見と私教育を許容することへの要求が高まるにつれて、政府は私教育禁止措置を徐々に緩和していき、2000 年に憲法裁判所が「学院の設立及び運営に関する法律」第 3 条及び第 22 条第 1 項第 1 号に対する違憲判決を出し、私教育禁止措置は全面的に解除された。その後、政府は私教育費を軽減するために放課後学校や EBS などの放送媒体を活用した対策を本格的にはじめたのである。これらの研究成果をより広く一般に知らせるために『韓国の英語教育と EBS の果たす役割』としてブイツーソリューションより出版した。

学校や家庭において児童のレベルと好みに合わせて番組を選ぶことができる EBS は活用の仕方次第で英語にいつでも触れられる環境を与えることができる。アジアの英語教育後進国とならないためにも日本においても英語教育専門番組のあり方というものを実験に検討していかなければならないであろう。では具体的に、日本は今何をすべきであろうか。日本においてもいくつかの英語教育番組が NHK 教育テレビで今まで放映されており、それらは技術的にも内容的にも素晴らしいものが多い。たとえば、2002 年より放映されていた『スーパーえいごリアン』は内容重視の指導法を取り入れた小学校高学年の興味にあった番組であり、ホームページ上で多くのオンラインゲームを行うことができた。また、小学生を対象として制作された番組ではないが、2008 年から 2011 年に放映された「リトル・チャロ」や「リトル・チャロ 2」なども小学生が楽しんで学習できる番組であり、特に、「リトルチャロ 2」はホームページ上で多くのオンラインゲームを行うことができた。しかし、どの番組も番組終了後しばらくして、ホームページは閉鎖されており、番組視聴はもちろんゲームも現在では行うことはできない。一方、韓国の EBS では過去に放映された番組のほとんどがホームページ上で無料で視聴できるようになっており、また、それらに付随したゲームや資料もそのまま使えるようになっている。そのため、視聴者側で多くの番組から学びたい英語教育番組を選べるようになる。ゆえに、今日本においてできることは、今まで放映された英語教育番組を番組終了後も小学校の英語の授業の副教材として自由に視聴できるようにホームページ上に公開し、それらをサポートできる体制を整えることであろう。さらに、英語教育番組は工夫次第で児童の興

味を引き付ける教材になりうる。ゆえに、日本においても小学生がレベル別に視聴できる英語教育番組を制作し、それらを授業において十分に活用できるような環境を早急に整えていくべきである。

今後の課題として、2011年にEBSeは新たな方針を発表し、私教育費軽減対策のために全国の小中学校が「EBS English 放課後英語教室」を活用できるように教員研修を行い、支援していくことを発表した。ゆえに、今後は「EBS English 放課後英語教室」を全国の小中学校でどのように活用していくかを中心に調べていく予定である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

カレイラ松崎順子 韓国の2007年改訂教育課程および日本の学習指導要領における英語教育に関する比較 東アジア研究 査読有 第55号, 2011, 1-15

カレイラ松崎順子 韓国教育放送公社 EBS-eの小学生対象の番組分析 査読有 メディア教育研究 第7巻第1号, 2010, 9-18

カレイラ松崎順子 韓国教育放送公社における英語の学校放送番組分析 大阪経済法科大学東アジア研究 査読有 第53号, 2010, 127-139

[学会発表] (計7件)

カレイラ松崎順子 Korean Educational Broadcasting System English(EBSe)の小中学生対象の番組のコーパス分析 言語研究と統計 2012年3月7日統計数理研究所

カレイラ松崎順子 韓国教育放送公社 EBSeの現状と今後の展開 日本「アジア英語」学会 第29回全国大会 2011年12月10日 椋山女学園大学星が丘キャンパス

カレイラ松崎順子 A Corpus Analysis of EBSe 37th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exhibition 2011年11月20日 National Olympics Memorial Youth Center, Tokyo, Japan

カレイラ松崎順子 韓国教育放送公社 EBSeにおける内容重視の指導法を取り入れた番組分析 映画英語教育学会 (ATEM) 東日本支部例会 2011年6月23日 麗澤大学 東京研究センター

カレイラ松崎順子 Analysis of Programs for Elementary School Students of Korean Educational Broadcasting System (EBS) English The 9th annual Hawaii International Conference on Education 2011年1月4日 Hilton Hawaiian Village Beach Resort & Spa, Hawaii

カレイラ松崎順子 韓国教育放送公社 EBSeの小学生対象のeラーニング教材の分析 2010PCカンファレンス 2010年8月8日 東北大学川内キャンパス

カレイラ松崎順子 韓国教育放送公社 EBSeのSchool English Levelの番組分析 日本児童英語教育学会 (JASTEC) 創立30周年記念 第31回全国大会 2010年6月20日 大東文化大学板橋キャンパス

[図書] (計1件)

カレイラ松崎順子 ブイツーソリューション 韓国の英語教育と EBSeの果たす役割 2012

6. 研究組織

(1) 研究代表者

カレイラ松崎順子 (CARREIRA MATSUZAKI JUNKO)

東京未来大学・こども心理学部・講師
研究者番号: 40454186

(3) 連携研究者

坂元昂 (SAKAMOTO SUBARU)

東京未来大学・こども心理学部・学長
研究者番号: 00016338